

## 令和5年度事業の実施状況（令和5年11月1日～令和6年3月31日）

### （1）相談件数

- ・延べ件数 612件（電話459件、メール142件、面接11件）
- ・実件数 174件（うち、いじめの相談は126件）

### （2）いじめの相談（126件）の内訳

- ・相談者（当初）：保護者116件、本人5件、家族・親戚2件、知人2件、不明1件
- ・学校種別：小学校47件（公立39件、不明8件）、  
中学校31件（公立20件、私立5件、不明6件）、  
高等学校41件（公立19件、私立16件、不明6件）、  
特別支援学校1校（公立）、高等専門学校1件（公立）、  
不明5件

### （3）学校との調整活動

- ・延べ件数 146件（電話144件、訪問2件）
- ・実件数 54件

### <改善事例、相談者の声（抜粋）>

- ① ブランコをぶつけられたというこどもの保護者が相談した事案  
学校はそのような事実は確認できなかったとしていたが、センターが調整活動に入ったことで学校が再度調査し、加害児童が行為を認め、謝罪
- ② 学校が当初、友人間のトラブルと思い、いじめと認知せず、被害児童はその後不登校状態となった事案  
センターが調整活動に入ったことで、学校が重大事態として調査を開始
- ③ こどもからの希望で保護者がセンターに相談した事案  
保護者からは「相談後、こどもの表情が明るくなって驚いている。相談できたこと、親以外に味方になってくれる場所があることに安心感を感じている様子」との声